

滋賀県立大学 環境科学部 環境社会計画専攻 卒業研究 着手発表会のご案内

3 回生担任 香川雄一

環境社会計画専攻 3 回生は、下記のように卒業論文着手発表会を開催します。  
関心がある方はどうぞご参加ください。

日時：2010年 1月20日(水) 13:30~  
1月21日(木) 13:30~

場所：交流センター研修室 1 ~ 3

1月20日(水)

13:30~

1	川口 茉希	井手	滋賀県における反対型環境運動の歴史 びわ湖自然環境ネットワークを主な事例として
2	川津 優貴	井手	琵琶湖に対する滋賀県民の意識の変遷に関する研究
3	阪井 紗代	井手	滋賀県内の福祉作業所による共同環境事業の提案
4	田村 翔	井手	NPO支援センターによるNPO支援の新たな仕組みの提案
5	中井 栄緒	井手	滋賀県における農家民宿の普及方法の提案 全国の先進地域の事例を参考にして
6	尾嶋 友美	鶴飼	過疎地域における地域環境と環境意識とまちづくり活動の関係

休憩

7	小田井 淳子	鶴飼	日本におけるコミュニティガーデン支援制度のあり方 ~ 兵庫県の事例を対象として ~
8	三田 恵理子	鶴飼	古民家を活用した多世代型コミュニティ・ハウス事業の成立要件
9	藤田 芽紅	秋山	環境基本計画策定後の振興管理に関する研究 滋賀県内市町の環境基本計画を対象として
10	倉田 佳久	近藤	雑誌付録を用いた環境問題の伝達効果に関する研究
11	岡 卓也	高橋	びわ湖材産地証明制度に関する研究
12	石原 誠太郎	香川	彦根市中心部を対象とした持続可能な都市観光地の整備に向けての考察
13	北 朋子	金谷	食品リサイクル法「再生利用事業計画認定制度」の実施状況と効果に関する研究 食品リサイクルループに取り組んでいる事業者を対象として

休憩

14	鈴鹿 友之	金谷	産廃税条例の効果の検証と問題点の把握
15	二宮 健太	金谷	県外の産業廃棄物受入に対する事前協議制度の施行実態及び運用実態の分析
16	波田 瑛 琢士	金谷	使用済み衣料の回収・リサイクルの取り組みの実態把握と提案 衣料の販売を行う企業を対象として
17	森 万由香	金谷	レジ袋有料化に関する自主協定の経緯・実施実態の把握および拡大への方策
18	大松 麻未	高橋	簡易ISO認証の現状とステップアップ推進に向けての研究 KES規格を対象として
19	清山 風人	香川	琵琶湖流域圏における府県別新聞報道に見る環境問題意識の比較調査
20	西崎 圭祐	香川	プロスポーツで使用される公共スポーツ施設を対象とした太陽光発電事業モデルの作成
21	山田 晴人	香川	企業のエコドライブ活動における実施の状況と今後の課題について エコドライブコンテスト受賞企業の分析から

1月21日(木)

13:30~

22	鎌田 遥香	鶴飼	集落コミュニティにおける水路再生プロセスに関する研究 滋賀県彦根市石寺町下石寺集落を対象として
23	西岡 直祐	香川	高等学校における環境教育の実施状況の実態 京都市の全53高等学校を対象にして
24	日比 大希	香川	環境影響評価条例の対象事業におけるインターネットを用いた情報公開・意見提出機能の運用実態に関する研究 都道府県と政令指定都市を対象として
25	入江 紗恵子	近藤	環境家計簿長期記帳者へのヒアリングに基づく環境家計簿の継続要因に関する研究
26	林 直哉	高橋	滋賀県内の森林認証の普及に関する研究
27	辻 葵	富岡	棚田オーナー制度による棚田保全の可能性 ~ 滋賀県大津市平尾地区を事例として ~

休憩

28	河原田 陽介	秋山	環境負荷の少ないウォータースポーツ活動の推進方法に関する研究 ~ 琵琶湖のウォータースポーツを事例として ~
29	三和 洸	秋山	伝統工芸産地における産地構造の変化と課題 京友禅産地を対象として
30	稲葉 孝文	井手	琵琶湖における泥藻採りによる栄養塩類除去量の推定
31	吉岡 智美	金谷	傘の貸し出し実施実態把握および利用者・返却率増加の条件に関する研究
32	中村 友子	近藤	未来予想絵図ワークショップを通じた市民の持つ将来ビジョンの共有化に関する研究
33	森 愛実	近藤	小学校音楽教科書掲載曲にみる環境倫理観の概念変遷についての研究
34	辻 圭祐	高橋	滋賀県内の組織におけるカーボンマネジメントの成功条件に関する研究
35	菱谷 昌弘	富岡	エコフィールドの利用促進に関する研究 ~ 畜産農家を対象として ~

休憩

36	伊藤 優希	秋山	衰退過程にある地方都市商店街の活性化に関する研究 ~ 長浜市中心市街地活性化基本計画を事例として ~
37	坪田 恭平	秋山	福祉文化交流施設の設置と中心市街地の活性化に関する研究 守山市中心市街地活性化基本計画を対象として
38	島 由弥	鶴飼	屋上菜園を通じたコミュニティ形成
39	山崎 啓太郎	高橋	滋賀県の各流域森林づくり委員会の県民協働活動についての研究

講評

授業評価(社会計画演習)

閉会

注意事項

一人につき発表5分、助言5分とする。  
時間の経過は4分経過で一鈴、5分経過で二鈴として示す。  
発表は要領よく行うこと。時間の超過は許されない。  
次演者は次演者席に着席し、次々演者がタイムキーパーを務めること。